よこはま市工連

横浜市工業会連合会主催　第30回新入社員合同研修会（於 帆船日本丸）

目次

平成28年度経済局ものづくり支援課主要事業 …… 2
平成28年度市工連役員の紹介 …… 3
平成28年度横浜市産業振興に関する要望についての回答 …… 5
地域工業会だより　鶴見区工業会 …… 8
神奈川工業会 …… 9
みなと工業会 …… 10
南事業会 …… 11
港南区工業会 …… 12
横浜西部工業会 …… 13
磯子事業会 …… 14
金沢区工業団体連絡会 …… 15
（一社）横浜北工業会 …… 17
戸塚泉栄工業会 …… 18
横浜青年経営者会だより …… 19
新入社員合同研修会 …… 20

No.74

発　刊　日：平成28年7月15日
編集・発行：一般社団法人横浜市工業会連合会
〒231－0023
横浜市中区山下町2番地
産業貿易センタービル2階
TEL.045-671-7051
FAX.045-671-7321
URL:http://www.y-shikouren.or.jp/

横浜市 事業計画

平成28年度 経済局ものづくり支援課 関連の主要事業

横浜ものづくりコーディネート事業　　3,555万円

企業の技術部門、営業部門出身者等を「ものづくりコーディネーター」として市内中小企業等に派遣し、技術力、製品の強みなどを把握します。その上で、他の企業や大学等の最適なビジネスパートナーを紹介し、中小企業の新製品開発や販路開拓を支援します。

【（公財）横浜企業経営支援財団：045-225-3709】

中小企業つながるものづくり推進事業【新規】　　1,000万円

インダストリー4.0など、IoTを活用した海外のものづくりの最新動向や先駆的な取組を把握するための展示会視察や、市内中小企業への情報提供、研究会・交流会等を開催し、企業間連携や新たなビジネスモデルの創出など、中小企業の活性化に向けた支援を行います。

【経済局ものづくり支援課：045-671-3489】

チームdeものづくり応援事業　　192万円　【経済局ものづくり支援課：045-671-3489】

市内中小製造業を中心としたグループが行う販路拡大や新分野進出等に必要な取組に係る経費を助成します。

３D技術支援事業　　318万円　【工業技術支援センター：045-788-9007】

横浜市工業技術支援センター内に３Dプリンタールームを開設し、データ作成から造形まで一貫したサービスの提供、民間事業者等と連携しながら３D技術導入支援を推進します。

◆中小製造業設備投資等助成事業、中小企業新技術・新製品開発促進事業（ＳＢＩＲ）の平成28年度募集は終了いたしました。

「横浜で働こう！」推進事業　　5,203 万円

◆横浜市就職サポートセンター事業　【横浜市就職サポートセンター：0120-915-574】

市民向け総合案内窓口を運営し、個別相談や女性・若者を対象としたインターンシップを柱とする就労支援などを実施します。

◆合同就職面接会・合同企業説明会　【経済局雇用労働課：045-671-2343】

合同就職面接会などによる求職者と企業の採用担当者との面談の場を提供します。

◆横浜テレワーク推進事業　【経済局雇用労働課：045-671-2343】

企業や市民の皆様の多様な働き方の実現に向けて、在宅勤務（テレワーク等）に関する普及・啓発セミナー及び相談会等を実施します。

女性活躍環境整備支援事業【拡充】　600 万円　【経済局経営・創業支援課：045-671-3828】

女性が働きやすい職場環境整備のための費用を助成します。

女性活躍推進を目指す中小企業へ、社会保険労務士などの専門家を派遣し、企業の実情に応じたアドバイスを行います。

ものづくり人材育成支援事業　　876 万円　【経済局ものづくり支援課：045-671-4144】

地元企業の魅力を発信し、中小製造業への関心を高めるため、市工連、大学、区役所等と連携し、 学生と企業の交流の場の提供や工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ」への高校生招待などを行います。

市工連 事業計画

平成28年度

市工連役員の紹介

平成 28 年 6 月 22 日（水）ホテル横浜ガーデンにて平成28年度定時総会･第1回理事会が開催されました。平成 27 年度の事業報告・決算報告の審議に加え、地域工業会の役員改選等に伴う市工連理事の選任、役員の選任が行われました。

（総会・理事会）

第 1 号議案　平成 27 年度事業報告について

第 2 号議案　平成 27 年度決算報告について

（総会）

第 3 号議案　任期満了等に伴う

理事・監事の選任について

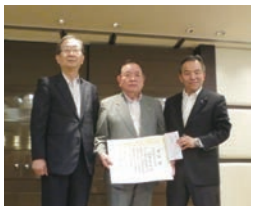
（理事会）

第 3 号議案　会長・副会長の選任について

第 4 号議案　平成 28 年委員会の委員について

を審議・承認されました。

その他「平成 28 年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書の回答について」経済局近藤ものづくり支援課長から説明を頂き、了解を得ました。



市工連役員

役 職 名	氏　　名	事業所・役職
会長	榎本　英雄	海洋電子工業（株）代表取締役社長
副会長	加藤　卓郎	（株）加藤組鉄工所　取締役社長
〃	斎藤　隆正	（株）ワイシー・ドキュメント　取締役顧問
〃	黒田　憲一	大洋建設（株）代表取締役社長
〃	寺嶋　之朗	プリンス電機（株）代表取締役社長
〃	稲村　直之	（有）稲村建具　代表取締役
理事	田中　　修	メルビック電工（株）代表取締役会長
〃	遠藤　　昇	横浜ステンレス工業（株）代表取締役会長
〃	長谷川浩正	日興テクノス（株）代表取締役社長
〃	松村　洋一	協立金属工業（株）代表取締役
〃	秋本　順生	ニッパ（株）代表取締役会長
〃	近藤　芳正	（株）ミカワ精機　代表取締役
〃	林　　琢己	横浜市経済局長
専務理事	松本　　孝	（一社）横浜市工業会連合会　専務理事
監　事	猪鼻　久義	猪鼻会計事務所
監　事	佐々木俊輔	（株）佐々木鉄工所　代表取締役会長

市工連委員会

委員会	役職	氏名	事業所・役職	
総務委員会	委員長	黒田　憲一	大洋建設（株）	代表取締役社長
	副委員長	遠藤　　昇	横浜ステンレス工業（株）	代表取締役会長
	委員	寺嶋　之朗	プリンス電機（株）	代表取締役社長
	委員	田中　　修	メルビック電工（株）	代表取締役会長
	委員	早坂　貴則	古河電気工業（株）横浜事業所	総務課長
	委員	横山　敦子	（株）カンザイ	代表取締役
	委員	鈴木　　清	港南テクニクス（株）	代表取締役
	委員	福久　正毅	新興プランテック（株）	執行役員　総務・人事部長
	委員	松尾　光雄	（株）丸十ベーカリーシャルン	取締役会長
	委員	金本　光雄	（株）万倉商事	代表取締役
	委員	山﨑　　一	（株）山喜	代表取締役
政策委員会	委員長	加藤　卓郎	（株）加藤組鉄工所	取締役社長
	副委員長	松村　洋一	協立金属工業（株）	代表取締役
	委員	和田　　晃	東洋電装（株）	代表取締役
	委員	桐ヶ谷修幸	（株）桐ヶ谷工業所	代表取締役
	委員	井上　芳雄	古河電工パワーシステムズ（株）横浜事業所	部長
	委員	山中　清孝	千歳自動車工業（株）	社長室付
	委員	達知　剛志	（株）プレスビット	代表取締役
	委員	栗原　敏郎	（株）大協製作所	代表取締役社長
	委員	長尾　浩二	（株）IHI 横浜事業所	総務部長
	委員	安永　平雄	一幸電子工業（株）	代表取締役社長
	委員	伊藤　知之	日本貿易印刷（株）	代表取締役社長
	委員	藤澤　秀行	（株）ニットー	代表取締役
事業・企画委員会	委員長	斎藤　隆正	（株）ワイシー・ドキュメント	取締役顧問
	副委員長	田中　宏和	日本自働精機（株）	代表取締役社長
	委員	松尾　文明	（株）松尾工務店	代表取締役社長
	委員	岩澤　敏治	（株）メディカルパワー	代表取締役
	委員	中村　正親	豊正工業（株）	代表取締役
	委員	花園美和子	朝日生命保険（相）上大岡営業所	管理所長
	委員	井上　博海	恵積興業（株）	代表取締役会長
	委員	今村　真也	（株）東芝横浜事業所	総務安全担当Ｇ長
	委員	黒岩　順一	（株）羽後鍍金	取締役会長
	委員	平良　重男	東京プロト（株）	代表取締役
	委員	加藤　高智	（有）工研	代表取締役
広報・産学委員会	委員長	寺嶋　之朗	プリンス電機（株）	代表取締役社長
	副委員長	見上　博一	見上工業（株）	代表取締役
	委員	山本　公彦	（株）丸屋神奈川製作所	代表取締役
	委員	関　　曙慶	曙建設（株）	代表取締役会長
	委員	島田　秀世	（有）旅館松島	代表取締役
	委員	橋爪　重信	新倖機材（株）	代表取締役
	委員	寺井　　享	寺井印刷工業（株）	代表取締役
	委員	宮原　史郎	東京ガス（株）根岸ＬＮＧ基地	総務部長
	委員	横山　雅行	平和産業運輸（株）	代表取締役社長
	委員	加藤　　豊	第一カーボン（株）	代表取締役
	委員	池田　修一	（株）日立製作所ＩＣＴ事業統括本部	横浜総務Ｇ部長代理
	委員	南川　拓也	（株）ミナミ技研	代表取締役
雇用・環境委員会	委員長	稲村　直之	（有）稲村建具	代表取締役
	副委員長	久保田耕二	久保田建設（株）	代表取締役
	委員	千葉　　護	（株）京南	代表取締役
	委員	加藤　勝久	ヤシマ食品（株）横浜本社	代表取締役
	委員	石川　　隆	石川精機製作所（株）	代表取締役
	委員	成澤　　宏	医療法人社団成澤会清水橋クリニック	事務局長
	委員	原　　信吾	日鉄工営（株）	代表取締役社長
	委員	矢矧　光雄	（株）村山製作所	代表取締役
	委員	藤枝　慎治	萬世リサイクルシステムズ（株）	代表取締役会長
	委員	佐藤　公悦	トーレック（株）	代表取締役
	委員	笠　　邦弘	（株）ブリヂストン横浜工場	総務部長
	委員	近藤　大輔	（株）ハルツ	代表取締役
施策検討会	委員	坂本　宏夫	三栄工機（株）	代表取締役
	委員	藤家美奈子	東京電力パワーグリット（株）鶴見支社	支社長
	委員	桐ヶ谷修幸	（株）桐ヶ谷工業所	代表取締役
	委員	高橋　幸夫	かちどき特許事務所	所長
	委員	高木　康志	高木弁理士事務所	所長
	委員	柳田　政之	（株）柳田エンジニアリング	代表取締役
	委員	平野　裕之	（株）平野製作所	代表取締役
	委員	安田　芳郎	（株）安田製作所	代表取締役
	委員	安澤　芳生	協同工業（株）	代表取締役社長
	委員	筧　　伸嗣	日清オイリオグループ（株）横浜磯子事業場	総務グループリーダー
	委員	児玉　聖司	（株）ワンツー・ストック	代表取締役
	委員	荻野　伸夫	相互電機（株）	代表取締役
	委員	金子　一彦	三宝精機工業（株）	代表取締役社長
	委員	加藤　高智	（有）工研	代表取締役
	委員	犬飼　　啓	（株）東邦製作所	専務取締役
	委員	近藤　芳正	（株）ミカワ精機	代表取締役

要望書 回答

平成28年度 横浜市産業振興に関する要望についての回答

市工連では昨秋、市の予算編成にあたり、横浜の産業振興を図るための政策提言並びに要望書を提出し、実現に向け要請を行いました。この度、市当局より回答がありましたので回答を掲載致します。なお、紙面の都合上、要望事項は見出しのみ掲載となります。

≪重点要望≫

1 企業の人材確保・育成等の活動に対するトータルな支援

[回答] 市民向けの総合案内窓口「横浜市就職サポートセンター」では、就労支援に関する施設や事業を案内するほか、個別相談で支援方法を決定後、就職支援セミナーなどそれぞれの必要性に応じた支援メニューを組み合わせて提供することで、就職相談から就職後の定着支援まで、一貫したサポートを実施しています。

また、合同就職面接会などによる求職者と企業の採用担当者との面接の場を引き続き提供していきます。

女性の活躍を推進するため、平成２７年度から開始した、女性社員を対象とした商品企画やリーダーシップを身に付けるためのワークショップを引き続き開催し、指導的な立場に立つ女性の育成支援を行います。

さらに、若者の「ものづくりイメージ向上」に向け、今後も高校生を対象とした工場見学会や高等学校の採用担当者との懇談会などの人材確保・育成事業を、引き続き貴団体と連携して取り組んでいきます。

2 販路拡大支援の強化（テクニカルショウヨコハマの一層の充実）

[回答] テクニカルショウヨコハマは、意欲ある神奈川県内企業の成長発展と、販路開拓を支援するため、共同主催者である貴団体、神奈川県、神奈川産業振興センターと、さらなる充実に向けて活発な協議を継続します。

また、今後はテクニカルショウの会場拡大についても視野に入れつつ、出展企業の皆様の要望を把握し、これを反映した展示会のあり方を貴団体とともに検討していきます。

≪経済局≫

1 海外販路開拓支援事業の充実

[回答] 市内中小企業の海外販路開拓に向けて、海外市場開拓支援事業による輸出アドバイスや海外展示商談会出展助成などを引き続き行っていきます。

工業技術支援センターでは、広域関東圏の１都10県の公設試験機関と連携し、輸出先の製品安全規格についての相談、情報提供、海外の製品規格に適合するための評価試験等様々な中小企業の海外展開支援サービスを行っています。

電気・電子・機械・化学分野などの海外規格に精通した専門相談員が、製品輸出に必要な規格への対応や適合性評価試験など、様々な相談に無料で応じます。専門相談員が遠隔地の公設試験機関に登録している場合など、テレビ会議システムを使用し、相談できます。また、海外規格解説テキストも無料配布しています。

連携公設試験機関では、海外規格に準拠した評価試験を実施し、海外でも通用する試験証明書、校正証明書の発行サービスも行っています。対応状況については、各試験機関により試験項目が異なり、有料となります。

2 企業が連携して行う受注開拓への支援

[回答] 市内中小製造業の競争力強化において、企業間連携は有効な手段の一つだと認識しています。引き続き、事業の実施を通して、中小製造業のグループ活動を支援していきます。

また、より使いやすい制度となるよう引き続き検討を進めるとともに、対象となるグループへの事業周知に取り組んでいきます

3 受発注相談の効果的実施

[回答] 横浜ものづくりコーディネート事業で、技術知識や営業知識が豊富なコーディネーターが中小企業を訪問し、企業の要望や課題を把握したうえで最適な連携先企業などを紹介することで、企業単独では難しい販路開拓等の支援を行っています。

個別のマッチングの他、中小企業と大手企業等が一堂に会したマッチング会の開催など、より多くの企業にマッチングの機会を提供するよう、工夫しながら取り組んでいきます。

4 地域貢献企業認定事業の一層の充実

[回答] 市民の皆様に対する認知度向上のため、関係部署間での連携強化や広報よこはまなどを活用したＰＲなどの取組を進めます。

また、企業のニーズにあった支援策の検討や、社会貢献の多様化に伴う制度の見直しなど、認定企業にとって魅力ある制度となるよう、事業の充実を図っていきます。

5 横浜に進出する企業に対する優遇措置

[回答] 企業立地促進条例は、平成 29 年度まで適用期間を延長するとともに、助成率や助成金上限額などの拡充を行いました。

また、引き続き、トップセールスのほか企業誘致セミナーなどの開催、個別企業訪問による横浜への移転の働きかけなど、積極的に企業誘致活動を行っていきます。

6 市内大企業の一層の協力促進

[回答] 企業立地促進条例で認定した事業者については、経営層に対して、建設及び事業活動にあたって、本市の建設業やサービス業等をできるだけ活用することを記載した依頼文を直接お渡しして強く依頼を行っています。

また、市内企業からの問い合わせに対応する窓口を設置していただき、横浜商工会議所の広報誌「商工季報」で広報しています。

今後とも、様々な機会をとらえて、地元企業への発注の働きかけを行っていきます。

7 工場立地等操業環境に対する支援

[回答] 市内製造業の良好な操業環境を可能な限り保全していくことは、本市の産業政策上必要不可欠なことであると認識しています。

（1）「大規模土地取引の事前届出制度」を活用し、土地取引の6か月前までに事業所の移転や撤退などの情報を収集し、市の考え方を土地所有者等に伝えることにより、工業集積の維持や土地の適正な利用等を図っています。また、平成 27 年度に実施した実態調査の結果を踏まえ、立地企業への新たな支援施策について検討していきます。

（2）中小製造業設備投資等助成制度において、工業系用途地域に移転を行う企業を対象に、土地・建物の取得費等に対する助成を行っています。
また、平成 27 年度から企業立地促進条例における助成率等の支援内容を見直すなど、引き続き企業立地を促進していきたいと考えています。

（3）操業環境の維持向上に対する支援として、平成 28 年度は中小製造業設備投資等助成制度で、操業に伴い工場から発生する騒音・振動等を低減する機器類の導入を新たに助成対象します。

（4）所有型・賃借型では、工場の新築・増築等に係る経費を助成しており、工場の建築については用途地域ごとに制限されていることから、助成対象地域を工業系用途地域のみとしています。既存工場への設備投資に対する支援については、平成 25 年度に拡大した助成対象地域を平成 28 年度も維持します。

8 工業団地の土地利用

[回答] 内陸部における工業集積の維持や立地環境の向上などを図るため、平成 27 年度に実施した実態調査の結果を踏まえ、立地企業への新たな支援施策について検討しています。

また、金沢産業団地エリアについては、地域まちづくりルールや現在の立地状況などを踏まえながら、引き続き適切な立地調整と産業集積の促進に取り組んでいきます。

9 各区役所でのものづくり産業への支援

[回答] ものづくり産業の活性化につなげるために、地域で活動している企業の情報やニーズを区役所と共有することが、重要だと考えています。そのため、現場訪問支援事業では、区内の中小製造業の実態把握に向け、必要に応じて区役所職員も参加しています。

また、「テクニカルショウヨコハマ」では、関連部署が協力し、販路開拓に積極的な中小製造業の出展を進めています。今後も、訪問等で得られた企業のニーズを共有し、区で行っている様々な取組と連携して中小製造業を支援していきます。

10 人材育成、確保

[回答]（1）人材不足が深刻化する中、将来を見据え、若者の雇用・育成の必要性は年々高まっています。本市では、貴団体と連携し工場見学会や展示会などを通じ、製造業のイメージ向上に向け、引き続き取り組んでいきます。

（2）横浜市就職サポートセンターで実施している若者・キャリアブランクのある女性向けインターンシッププログラムは、実習を中心とした集合研修で学んだビジネスマナーやコミュニケーション能力等を実践し、それらを自己成長の機会とすると同時に、実際に仕事を経験してみることで視野を広げてもらう機会としています。インターン期間については、引き続き求人企業の意向に沿うよう努めていきますが、長期間にわたるインターンは研修生が無償の労働力化する恐れがあるため、1社あたりのインターン期間は最大 10 日間が適正だと考えています。また、貴会と連携し、ものづくり企業へのインターンシップにも引き続き取り組んでいきます。

（3）横浜市就職サポートセンターでは、正規雇用を目標とした若者向けのインターンシッププログラムを実施するとともに、ハローワーク横浜や神奈川労働局と連携し、新規大学卒業予定者及び既卒3年以内の求職者を対象とした合同就職面接会による、求職者と企業の採用担当者との面談の場を引き続き提供していきます。

（4）職場環境の改善については、就業規則の見直しや専門家によるコンサルティング等の一部助成に

加え、平成 27 年度より女性専用設備の設置費用も対象とするなど、女性活躍推進にかかる支援を充実させました。女性が継続的に働き続けられる環境を作ることは、ひいては男女を問わず働きやすい職場環境づくりにつながるものと考えています。引き続き、より多くの企業の取組を支援していきます。

（5）企業の皆様が技術継承に課題を感じていることは承知しています。技術及び技能研修への助成について、皆様のお話を聞きながらニーズ把握に努めていきます。

（6）本市が行う横浜マイスター事業では、手仕事・手作業を中心とした職種から市民の生活・文化に寄与する優れた技能職者を「横浜マイスター」として選定し、後継者育成、貴重な技能・技術の継承及び普及活動を行っています。厚生労働省が創設した「ものづくりマイスター制度」では、建設業と製造業の優れた技能と経験を持つ方を「ものづくりマイスター」として認定しています。ものづくりマイスターが中小企業、職業訓練施設や工業高等学校などの若年者に対して実技指導や小・中学校での講義や体験教室を行い、技能の継承や後継者の育成を行っています。なお、神奈川県職業能力開発協会に設置された神奈川県技能振興コーナーが、ものづくりマイスターの派遣コーディネートを行っています。こうした制度とも連携しながら、技能継承、後継者育成の支援に力を入れていきます。

（7）外国人研修の研修期間の延長や対象業種の拡大については、皆様のご意見を伺いながら、関係機関にご要望をお伝えしていきます。

11 助成制度対象業種（IT）の拡充

[回答] 中小製造業設備投資等助成制度については、中小製造業の経営基盤の安定・強化を図るという制度の目的を鑑み、中小製造業の方が行う投資に対して助成をしております。

IT 開発ソフト事業については、今後、ものづくりの最新動向に関する情報収集を行いながら、助成の対象に含めるか検討していきたいと考えています。

12 各種中小企業支援制度の運用

[回答]（1）支援制度の広報については、説明会の開催やダイレクトメールの送付のほか、貴団体にもご協力いただき、市内企業への情報提供に努めているところです。

金融機関などに対しても、個々の支援事業について機会を捉え説明に伺うなど、企業の皆様が様々なルートから情報を得られるよう取り組んでいます。今後も引き続き、本市支援施策の周知に向けた工夫に努めていきます。

（2）補助金等の申請手続きについては、各企業の皆様の現状を具体的に把握し、交付の目的に合致するか等を確認するために必要な書類を提出していただいています。

企業の皆様の負担を軽減し、制度をご活用いただけるよう、記載内容や添付書類について、引き続き簡素化を進めるための工夫を検討するとともに、手続きの流れに関する丁寧な説明に努めていきます。

（3）年度当初に発行している「支援施策ガイド」で、本市の支援施策を事業者の皆様のニーズに合わせてご紹介するほか、ホームページで国や県等の施策に関するページのリンクを随時掲載するなど引き続き事業者の皆様にとってわかりやすい情報発信をしていきます。

（4）助成金の交付にあたっては、事業完了次第、実績報告書などを提出いただいた上で、現地調査などにより助成金交付が適当かどうかの審査を行っています。助成金の支払が速やかに行われるよう、企業の皆様への手続きの案内や、効率的な審査の工夫を検討していきます。

13 現場訪問支援事業、ワンストップ相談事業などの一層の充実

[回答] 現場訪問支援事業は、本市職員が IDEC 職員と一緒に中小企業の現場に足を運び、その課題や要望をお聞きし、企業ニーズに即した施策につなげるよう取り組んでいます。

また、IDEC が行うワンストップ経営相談窓口では、各分野の専門家を配置し、事業承継等も含めた企業が抱える幅広い相談に、引き続き対応していきます。

今後も、企業の皆様の現場の声をお聞きし、課題解決に役立つような支援策や相談窓口をわかりやすく紹介できるよう工夫を図るとともに、庁内の関係部署に情報提供し詳細な制度の説明・利用につなげるなどきめ細かな対応を行い、中小企業の皆様と顔の見える関係をつくりながら、引き続き事業の充実に努めていきます。

14 ＢＣＰ策定への支援

[回答] 平成 25 年度から、ＢＣＰの必要性や作成上の基礎的知識をセミナーで習得した企業に対し、専門家派遣による実践的な策定支援を行ってきましたが、ＢＣＰ策定の必要性を認識するものの、すぐには策定に踏み切れない中小企業が多く、策定支援数が減少傾向にありました。

今後は、このような中小企業の実状を考慮し、ＢＣＰ策定支援を IDEC の中小企業支援センター事業に位置付け、関連セミナーの開催のほか、窓口等相談事業において、それぞれの企業に応じた個別相談を行うことで、引き続き企業の ＢＣＰ策定を支援していきます。

工業会便り

鶴見区工業会（鶴見区）

【平成 27 度合同地区懇談会の開催】

2月25日(木)㈱松尾工務店5階講堂で開催、参加者 52 人。「癌とスポーツ・子供の教育～ボクシング人生を通して多くを学ぶ～」の演題で、カシアス内藤 氏（元･東洋ミドル級チャンピオン）の講演、講演後、ゲストにお迎えした長男･内藤律樹 氏（第 45 代 日本スーパーフェザー級王者）との親子で迫力・威力のあるミット打ち練習を体感する場面もありました。その後、講師を囲み賑やかに懇親会を行いました。

講師親子

講演会風景

ミット打ち練習

懇親会スタート・乾杯風景

【第 34 回通常総会・平成 28 年度市長 / 会長表彰式開催】

5 月 23 日（月）16 時半から、横浜駅西口のホテル横浜キャメロットジャパンにおいて第 34 回通常総会･表彰式･懇親会を開催しました。当日の出席者はご来賓を含め 116 人でした。通常総会では新会員の 4 社のご紹介を行い、続く表彰式では、「横浜市工業団体役員」1 人、「横浜市優良工業事業所」出席 1 社の市長表彰、次に「優良工業従事者」8 人の市長／会長表彰を行いました。

表彰状授与者を囲んで受賞の皆さん

【第２地区・第１回地区懇談会の開催】

2 月 10 日（水）、煌蘭川崎店において第２地区の第１回地区懇談会を参加者 13 人で開催。参加者はお互いに会社紹介を含む自己紹介を行うなど、打ち解けた雰囲気の中で交流を行いました。

参加者全員で記念写真

Slim eco LED照明＆T5スリム蛍光灯
省エネでコンパクト 環境配慮型製品
PRINCE
棚下・間接照明 ディーライン 高効率LED採用
天井照明 省ライン® 高周波点灯専用T5蛍光ランプ採用

本体写真(電源システム別)

薄形直付照明器具
商業施設・オフィス・工場等の
省エネは照明器具から
COOL CHOICE
スリムエコ製品 未来のために、いま選ぼう。
プリンス電機株式会社
ISO9001・ISO14001・OHSAS18001 認証取得
横浜型地域貢献企業認定取得
本 社：〒230-0024 横浜市鶴見区市場下町8-25 TEL 045 (501) 4722 FAX 045 (501) 4730

工業会便り

神奈川工業会（神奈川区）

今回は昨年の事業報告をさせていただきます。
本年度も各種事業を推進する予定です。

【経営委員会】

☆印は会員交流委員会が懇親会実施
☆都心臨海部再開発計画説明会
☆キリンビール工場見学会
　マイナンバー・受発注講習会
☆昭和アルミニウム缶㈱工場見学会
　県商工就職に関する意見交歓会

■融資のポイント講演会

■消防署査察ポイント・建築安全基準説明会

【会員交流委員会】

■ボーリング大会（ハイアンドレーン）
■暑気払い（キリンビアポート）

■忘年会（ピアット）
■平成２８年賀詞交歓会

【広報委員会】

- 神奈川工業会会報新年号発行
- 「神奈川工業会」だよりを７回発行

【会員拡大委員会】

会員４社、賛助６社計１０社、入会頂きました

【ゴルフ会】

磯子カンツリークラブで３回開催しました。

神奈川工業会

会　長　小菅　光良

神奈川工業会は下記の委員会を中心に事業を推進し、会員のメリットを追求します。

・総　　務　委　員　会　活動全般の企画、調整
・経　　営　委　員　会　経営に資する事業の展開
・広　　報　委　員　会　積極的な広報事業の展開
・会員 交流　委　員　会　会員の交流・親睦の推進
・会員 拡大　委　員　会　新規会員の入会促進

〒221-0002 横浜市神奈川区大口通130-1 横浜信用金庫大口支店3F
電話　045-401-4324　FAX 045-401-4394　e-mail:kdfycia@nifty.com

工業会便り

みなと工業会（西区・中区）

会員企業の過半数が参加し 平成 28 年度事業方針を確認しました！ 第 33 回通常総会を開催

5 月 11 日（水）17 時より、横浜国際ホテルにて 73 名（来賓 9 名）の出席で「第 33 回通常総会」が開催されました。

平成 27 年度の事業報告では、今日まで培われてきた『ユニークな工業会』『経営にお役に立つ工業会』を絶えず意識し各種事業を展開。
朝食会は 40 名を超える出席を頂いたこと、異業種交流サロンについては、サロンに移行し 100 回を迎えたこと、納涼事業、経営者セミナーについてもユニークなゲストを迎え開催多彩なゲストを招いて開催した事等を報告。

平成 28 年度の方針として、経済環境が不透明状況下にあり、景気回復の期待はしつつも、企業の独自色を強め『自らの企業は自らの信念で経営を進めていく』こつが求められていることから、経営活動にプラスになる事業を推進することを基本に進めることで確認されました。

［平成 28 年以降の朝食会］

当会は小規模ながら、会員の 80％が当会事業に参加している活力ある工業会です。日常経営活動にお役に立つ情報などをタイムリーに提供しております。

第 282 回朝食会　2 月 16 日（火）　45 名
国内外の経済状況
マイナス金利政策導入などお話いただく！

内の経済の先行不透明感が増しつつある中、日銀のマイナス金利政策が導入された 2 月 16 日、日本銀行横浜支店長岩崎淳氏をゲストに「最近の金融経済状況について」と題して開催しました。

第 283 回朝食会　3 月 15 日（火）　33 名
経営方針やトピックス等提供いただく！

平成 28 年度に向け会員間の情報交換を行う

平成 28 年度期首をまえに、経営者の方々の経営方針を中心に 8 名の方々よりコメント頂きました。

第 284 回朝食会　4 月 19 日（火）　41 名
平成 28 年度市予算の特徴と経済局重点施策及び ＩＤＥＣの企業支援策・・についてお話し頂く！

平成 28 年度年初でもあることから、経済局ものづくり支援課近藤健彦課長及公益財団法人横浜企業経営支援財団（ＩＤＥＣ）牧野孝一理事長をゲストに開催致しました。

第 285 回朝食会　5 月 17 日（火）　40 名
熊本地震、マンション杭偽装問題など タイムリーな情報講演頂く !!

横浜国際ホテルにて 40 名の出席で開催。本年 4 月におきた熊本地震は、東日本大震災に続き甚大な被害をもたらした事、横浜市内でマンション問題が派生していることから、日経 BP 社建設局長 日経 BP インフラ総合研究所長執行役員 安達功氏をゲストに、「成熟社会の住宅と不動産」～震災、杭偽装から空き家問題まで～と題して講演いただきました。

NISSAN

日産は、世界をリードする自動車メーカーとして、
お客さま、株主、従業員、そして地域の皆さまとのつながりを大切にしながら
将来にわたって価値ある持続可能なモビリティの
提供に努めていきます。

NISSAN 横浜生まれ 神奈川育ち
We love KANAGAWA

www.nissan.co.jp

工業会便り

南事業会（南区）

《南工業会から南事業会への会名称変更》

当会は製造業を柱として昭和57年3月12日に設立され34年になりますが、会員数も設立当時の162社から現在は89社と50%減になり又業種内容も、製造業以外の比率が7割を超え会員形態も製造業を柱としながらも多業種にわたり、その現実を踏まえ昨年11月18日に臨時総会を開催、地域異業種の集合体に相応しい名称として「南工業会」から「南事業会」への名称変更を行いました。今後とも、会員相互の親睦・交流を大切に行政・地域と一体となり、地域社会に貢献する会として活動します。

《平成28年度第34回通常総会･懇親会開催》

『総会』

平成28年5月25日（水）ホテル横浜ガーデンにて開催

斎藤会長の挨拶の後審議に入り6議案すべてが承認され、その後、横浜市経済局　林琢己局長、横浜市工業会連合会　松本孝専務理事様よりご祝辞を頂き予定時間を過ぎるほどの活気ある「南事業会」として素晴らしい新生のスタートの総会となりました。

『懇親・交流パーティ会』

総会に続き、65名のご出席を頂き、懇親パーティとなり、大木節裕南区長、伊藤純一議員団代表のご祝辞に続き、乾杯の音頭を港南区工業会会長稲村直之様のご発声により和やかな雰囲気の中で歓談・交流 が進み、やがて当会恒例の福引大会となり、当会の役員・理事のご好意でご寄贈頂いた多くの景品が引き

当てられるたびに歓声とため息が交差し賑やかなうちに終了、山中清孝副会長の中締めで、懇親・交流会が盛会のうちに終了致しました。

《南区桜まつりへの参加》

平成28年4月3日（日）蒔田公園で開催された桜まつりに従来の「ぼんぼり」だけの協賛ではなく26回目にして初めて模擬店を出店、生憎の曇天でしたが満開の桜見物で多くの方が来場され二度に渡り材料を補給したほどの盛況で地域と一体となった楽しい催しとなりました。

次は、7月の南まつりにも出店準備中です。

南事業会

多業種にわたる会員同士の親睦･交流を大切に地域に貢献する南事業会

会　長　齋藤　隆正　株式会社　ワイシー･ドキュメント

副会長　横山敦子　(株)カンザイ
副会長　平岡　久雄　(株)平岡電機工事
会計理事　橋本　祐二　日本濾水機工業(株)
会計監査　石田　猛　神中工業(株)

副会長　島田秀世　(有)旅館松島
副会長　山中　清孝　千歳自動車工業(株)

会計監査　佐々木哲夫　佐々木哲夫税理士事務所

工業会便り

港南区工業会（港南区）

■第３５回通常総会・懇親会

５月２６日（木）に上大岡のウィリング横浜で通常総会が開催されました。

今回も高梨副会長の特別なはからいにより、当会の伝統である開会前のお茶席を設け、来賓の方々にご好評いただきました。

稲村会長の船が出港して２年、乗務員の改選がありました。長年当会の活動に多大なる貢献を下さいました渡部氏が理事を退任され、新たに今井氏と尾形氏が理事に任命されました。

総務部長として正直なところ今回の総会を迎えるにあたり、かなりの緊張感を持って準備しました。会長を始め、副会長、部長方のご助力をいただき無事に総会を終えることができました。

総会終了後は、和気藹々の会員間でのコミュニケーションが図られ、談笑に花が咲いていました。

今後の活動の運営については、良い伝統は、できうる限り継承していくとともに、見直すべきことは見直していく、時代のニーズに合わせた姿勢で事業活動に取り組んでいく所存です。

（総務部長　成澤　宏）

総会風景

■平成２７年度下半期より現在まで

港南区工業会は、コミュニティー部を中心に会員相互の情報交換及び親睦を図っています。

３月１１日ボウリング大会（上大岡：赤い風船）の開催。プレーのあと、懇親会。それと恒例になりました港南区ランニング大会への協賛と当日参加いたしました。

ゴルフ会は今年にはいって２月２６日、４月１９日に磯子カンツリークラブで開催いたしました。

５月２６日に上大岡ウィリング横浜にて、第３５回総会を開催し、平成２８年度がスタートいたしました。

（広報情報部理事　橋爪　重信）

コミュニティー会で楽しんでいます。

港南区工業会

会員に「工業会に入っていてよかった」と喜ばれる当会は、異業種も含む会員間のコミュニケーションを深め、趣味同好会での組織強化を図りつつ、会員のメリット、地域社会への貢献を目指しています。

会　長　稲村　直之　有限会社稲村建具

副　会　長	鈴木　　清	港南テクニクス(株)	総　務　部　長	成澤　　宏	清水橋クリニック
副　会　長	高梨　　徳	(有) 高梨鉄工所	ｺﾐｭﾆﾃｨｰ部長	達知　剛志	(株) ブレスビット
副　会　長	高井　軍造	(株) ニッシン電子	広報情報部長	齋藤　　保	(株) イータウン
副　会　長	江藤　忠勝	(有) 龍昇堂	渉　外　部　長	岩谷　憲和	(有) 一建テック
副会長・会計	平野　裕之	(株) 平野製作所			

ホームページ　港南区工業　検索　E-Mail：jimu@konan-k-it.jp

工業会便り

横浜西部工業会

（保土ヶ谷区・旭区・瀬谷区）

☆横浜市経済局と意見交換会を開催

4月15日（金）JA横浜二俣川支店会議室で、市経済局中小企業振興部ものづくり支援課長の近藤健彦氏および担当職員のご出席を得て、意見交換会を実施しました。

先ず近藤課長から横浜経済の現状と横浜市中小企業支援策について、資料に基づき説明をしていただき、意見交換に入りました。市

【冒頭ご挨拶をされる近藤課長】

の設備投資助成制度等への質疑、要望など、活発な意見交換会となりました。

☆平成28年度第17回通常総会を開催

第17回通常総会が、5月24日（火）、ホテルキャメロットジャパンで、来賓に横浜市経済局及び横浜市工業団体連合会（市工連）の役職員をお迎えして開催されました。

議案は、平成27年度事業報告・収支決算報告、及び平成28年度事業計画（案）、収支予算（案）で、いずれも異議無く承認・可決されました。

☆工業会役員・優良工業従事者を表彰

総会閉会後、役員と優良工業従事者の表彰式が、保土ヶ谷・旭・瀬谷の3区長ご出席のもとに行われました。

横浜市長表彰状が森英毅瀬谷区長から役員4名及び従業員5名に、工業会会長表彰状が遠藤昇会長から従業員8名に、それぞれ記念品を添え授与されました。最後に森区長から受賞者にお祝いと激励の言葉が贈られました。

☆懇親会を開催し交流を促進

午後5時10分から、来賓を含め77名のご出席のもとに懇親会が開催されました。

遠藤会長のご挨拶に続き、来賓として森敏明市会議員、池戸淳子旭区長、林琢己経済局長、榎本英雄市工連会長の4人からご挨拶をいただいた後、菅井忠彦保土ヶ谷区長の乾杯の発声で懇談に移りました。途中新会員の紹介もあり、和やかな歓談の輪が広がり、盛大な懇親会となりました。

テレビ、映画、CM、PV、美術製作
恵積興業株式会社
代表取締役会長　井　上　博　海
〒246-0015　横浜市瀬谷区本郷1-22
ＴＥＬ．(045) 303-1627
ＦＡＸ．(045) 301-6869
〒246-0015　横浜市青葉区緑山2100
TBS緑山スタジオ内
TEL.FAX.(045)963-6075

あらゆる産業で
塗装コストの削減
品質の統一化を図る
産業用ロボット、塗装設備、
自動制御機器の設計、製造、工事
日鉄工営株式会社
代表取締役社長　原　信　吾
横浜市瀬谷区阿久和南二丁目13番地6
ＴＥＬ．（０４５）３６４－８０３０
ＦＡＸ．（０４５）３６３－９８０８

工業会便り

磯子事業会（磯子区）

平成 28 年度　第 44 回総会を開催

5 月 27 日（金）にホテル横浜ガーデンにて 36 名出席のもと第 44 回総会を開催しました。

総会では、平成 27 年度事業報告、決算・会計監査報告、ならびに平成 28 年度事業計画（案）、予算（案）の全議案に対して可決承認されました。また、新たに今年度から入会された企業紹介がなされ、更に会員増強が図れるよう魅力ある事業会活動を行っていくことを確認し閉会となりました。

横浜市優良従事者市長表彰式を挙行

総会後、横浜市優良工業従事者の表彰式を執り行い、小林磯子区長から受賞者に表彰状を、長谷川会長から記念品をそれぞれ授与して頂きました。小林区長から「会社や横浜市発展のために引き続きご活躍頂きたい」とのご祝辞を頂き、受賞者から「横浜市発展に貢献できるよう今後も努力してく」という力強い謝辞で、表彰式が締めくくられました。

講演会の開催

第三部として、2015 年ラグビーワールドカップ日本代表の廣瀬俊朗氏に「なんのために勝つのか」と題して講演いただきました。廣瀬氏は 2012 ～ 2014 年まで日本代表の主将を務めながら、ワールドカップ寸前でヘッドコーチの方針により主将を突然解任されるという状況において、自分はチームのためにどう貢献できるか考え、相手国の動きを徹底研究したほか、自主的に関係者 700 人からのエール VTR を制作し、南アフリカ戦前に控え室で上映。

一度もベンチ入りを果たせなかったものの、チーム団結を促しワールドカップでの歴史的勝利に貢献した方です。講演ではワールドカップでの話しを交えながら「なんのため勝つのか」というテーマで、組織を牽引するリーダーとして、「組織や人を好きになること」「人それぞれの居場所を用意してあげること」「権限をあたえること」等の必要性についてお話し頂きました。講演を拝聴した参加者は「真のリーダー」となるためには、改めて「人への関心」と「木目細かい対話」の重要性を再認識した講演となりました。

懇親会の開催

第四部の懇親会は、磯子区役所をはじめ、多くの来賓に迎え盛大に開催しました。長谷川会長より冒頭、「磯子区発展のために更に自由な意見交換ができる事業会にして行きましょう」との挨拶で会がスタートし、活発な意見交換が行われました。

磯　子　事　業　会

235-0036　磯子区磯子3-5-1

会長　長谷川　浩正（日興テクノス株式会社）

【 役員企業】

日興テクノス（株）
ＪＸエネルギー（株）
（株）サカクラ
新興プランテック（株）
（株）東芝
横浜セレモ（株）
（株）ＩＨＩ
（株）石辺製作所
三共技研工業（株）
電源開発（株）
丸新飲料（株）
高栄企業（株）
日清オイリオグループ（株）
磯子区商店街連合会
シティー開発（株）
東京ガス（株）
（株）村山製作所
リバースチール（株）

工業会便り

金沢区工業団体連絡会
（金沢区）

（横浜市金沢団地協同組合）

○通常総会及び優良工業事業所表彰式

平成２８年５月２６日　横浜市金沢団地協同組合第４４回通常総会が行われた。榎本理事長は、開催の挨拶の中で、本年度の活動方針として、行政及び地域団体と連携を密に、工業地域として集積されたメリットを活用して活性化を図ること、求人体制を構築することを述べた。

総会終了後、平成２８年度優良工業事業所　７社の市長表彰が実施され、横浜市経済局中小企業振興部石川部長から賞状が手渡された。また、懇親会では、鳥浜バス通り花壇コンテストの表彰が行われ、優秀花壇として５社が、特別賞として県立金沢養護学校が、それぞれ理事長から表彰された。

優良工業事業所

花壇コンテスト表彰

○求人体制の構築

地元企業の人材確保の一環として、平成２８年３月９日　横浜南公共職業安定所と共同して、一般求職者に対する面接会を組合会議室で実施し、３月１７日　関東学院大学と共同して、大学生に対する就職面接会を同大学金沢八景キャンパスで実施した。初めての取組であるが、今後、人材確保は困難となることが予想されることから、今年度から同事業を重点に実施する所存である。

（金沢中央事業会）

第３３回通常総会開催

６月３日に金沢区内、ハイ・ローズにて開催されました。第１号議案決算から、第５議案役員改選まで、多少のハプニングはあったものの、滞りなく進み、承認されました。

総会の後、たくさんのご来賓のご出席を頂き、盛大に懇親会を開催、交流が行われました。

今年度、４６社で始まるわけですが、総会に会員の約半分が出席することを考えれば、参加率は高いと言えるのですが、ここに、一度も出席したことのない会員が入ると、また、雰囲気が変わり、さらに交流が広がると思います。会員同士の声掛けを期待します。

昨年度は、金沢区役所、消防署が新しい建物になり、さらに新しい事業に取り組むと思われます。微力ながら、協力できたらと思いますが、事務局だけでは限界があります。今年度は委員会を活発にできたらと、思います。

（事務局）

横浜市金沢団地協同組合

理事長　榎本　英雄
副理事長　常山　洋
副理事長　佐藤　正明
副理事長　高島　眞澄

〒236－0002　横浜市金沢区鳥浜町16番6
TEL　045－774－4852　FAX775－0678
E-mail　info@kanazawadannchi.jp

（一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会）

一般社団法人
横浜金沢産業連絡協議会

ダイドードリンコ株式会社
首都圏第一営業部

（ダイドービバレッジサービス㈱みなと営業所）
当社は全国各地に約 28 万台設置されているダイドードリンコの自動販売機の運営を担う販売会社です。2014 年 9 月に金沢区幸浦 1 丁目に事務所を出店。他神奈川県 13 カ所拠点を有し、地域密着型の営業をしております。ダイドードリンコはコーヒーを中心とする嗜好飲料・健康飲料等の製造と販売を行う総合飲料メーカーであり、自動販売機による売上比率が約 90%と非常に高いのが特徴で、とてもユニークな機能を持った自販機を展開しています。

関東学院大学校歌自販機

ユニークな機能のひとつにオリジナルおしゃべり機能があります。商品購入時などにオリジナルの音声を流すことができる機能です。ある企業では、職場内の自販機に社長の声を吹き込み、「お疲れさん」「いつも頑張ってくれてありがとう」などと従業員に労いの声を掛ける自販機を設置し大変話題になっています。関東学院大学様には、飲料を購入すると同校の校歌が流れる自販機を設置しております。校歌を歌う機会が入学式や卒業式などに限られている昨今、学生がこの自販機をきっかけに、より校歌に愛着を持ってほしいとの願いで設置しました。この関東学院大学校歌自販機は日本経済新聞に掲載された他、テレビ東京系列の朝の情報番組「モーニングチャージ！」でも放映されました。

リスクヘッジメッセージ自販機

現在、リスクヘッジメッセージ自販機を企画しています。１１月の品質強化月間には啓蒙メッセージを流したり、交通事故が多発する年末には交通安全に関する標語を流したり…など危険の回避を促すメッセージが流れる自販機を検討しています。御社オリジナルメッセージが流せますのでお気軽にご相談下さい。

ダイドードリンコ株式会社　首都圏第一営業部
こころとからだに、おいしいものを。
〒223-0013　横浜市港南区丸山台3－40－1
TEL. 045-846-2146　　FAX. 045-846-2236
担当　深澤
DyDo

工業会便り

一般社団法人横浜北工業会

（港北区・緑区・青葉区・都筑区）

横浜北工業会の持続的発展を目指して

【平成２８年度第５６回総会】

前年度は、５つの委員会で工業会の運営、あり方の共有やランチョンミーティングなどの具体事業を検討し実施してきました。

その結果、入会企業が二桁の１１社となりました。実に１８年ぶりのことです。

また、総会や賀詞交歓会などの会員の交流の場にも、今まで参加していただけなかった会員企業も日程の関係も大きいと思いますが、少しずつ増加傾向にあります。

２８年度は理事改選期ではありましたが、現体制を維持し昨年度立ち上げた事業を充実していくことが５月３０日の総会で承認されました。

懇親会は１５０名余が参加しました。

第 56 回総会懇親会風景：平成 28 年 5 月 30 日新横浜国際ホテル

【平成２８年度主な事業】

１．北工業会ホームページ（HP）の改革

受発注ニーズに対応した会員企業の業種別整理や会員企業 HP へのリンクを再構築するとともに、会員企業専用ページを設置し、工業会の詳細活動の周知、意見交換の場づくりや経営に資する支援制度等のほか従業員の方へのサービス・イベント開催などを、適時に提供できる環境に一新します。

２．慶応大学・横浜市・北工との３者間産学連携事業の推進

三者間の協定の最終年度に当たる今年度は、具体的な連携成果を生み出すよう活動するとともに、会員企業の中で産学連携による事業開発を行っている中堅企業の成功事例や横浜市の新規事業の先端機器体験講座の活用、他都市との交流などにより、新規事業の取り組みの環境を引き続き整えていく。

３．ランチョンセミナー（年間６回）の開催：新横浜国際ホテル　ランチで２時間

昼食を取りながらリラックスした中で、テーマを定めたセミナーと自由にディスカッションし、共に学ぶことのできる場として前年度の６回の開催に引き続き開講していく。

（平成２８年度前半の日程）

（１）４月１３日：横浜市の中小企業支援策と信用保証協会の活用　　１８名参加

（２）５月２４日：北工･神奈川法人会合同セミナー港北区の開発計画　７０名参加

（３）６月１５日：中小企業の海外事業を考える　１４名参加

（４）７月２５日：金融機関の視点から中小企業経営を考える

（５）８月２４日：ＩＯＴを学ぶ　ハノーバーメッセ視察報告

（６）９月１４日：中小企業の人材確保と確定拠出年金

5 月 24 日北工・神奈川法人会合同セミナー

一般社団法人　横浜北工業会

会長　秋本　順生

〒２２６－００１１
横浜市緑区中山町３２４－１０なかやまラブニール会館２階
電話　０４５（９２９）５７５７
E-mail：y-kitako@arion.ocn.ne.jp

工業会便り

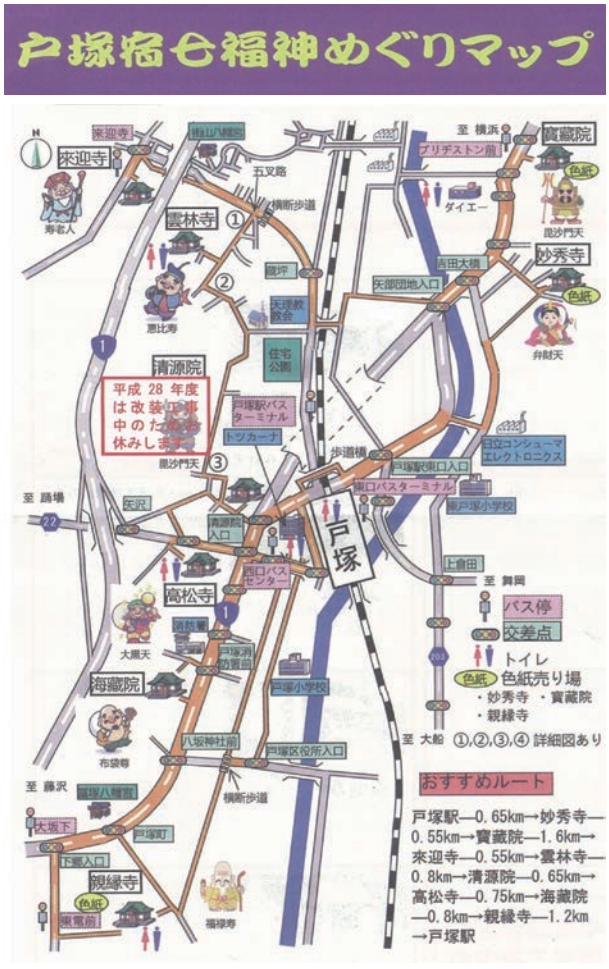
戸塚泉栄工業会

（戸塚区・泉区・栄区）

戸塚宿七福神めぐりの紹介

この戸塚宿の七福神は、今から 4 年前に「戸塚歴史の会」が中心となり「戸塚区仏教会や戸塚観光協会」等の協力により「戸塚宿七福神推進協議会」が立ち上がり、その活動の結果、第 1 回平成 26 年 1500 人、第 2 回平成 27 年 4000 人、平成 28 年 6000 人の参拝者があり平成 29 年は更に増える見込みです。（実施予定 平成 29 年 1 月 5 日 ~11 日）

七福神の信仰は室町時代の末期に、京都の民衆文化に、根付いたものと言われており、京都を発祥として江戸に伝わり、そこから各地に広まったと言われている。



戸塚宿七福神

	七福神	戸塚宿社寺
①	弁財天	妙秀寺
	・唯一の女神	
②	毘沙門天	宝蔵院
		清源院
	・北方の守護神	
③	寿老人	来迎寺
	・古代中国の道教の神様	
④	恵比寿	雲林寺
	・漁業と商売の神様	
⑤	大黒天	高松寺
	・民間信仰に浸透し台所などに祀られる	
⑥	布袋尊	海蔵院
	・円満の神様	
⑦	福禄寿	親縁寺
	・幸福・長寿の神様	

オセアングループ
大洋建設
オセアン大洋建設
検索

青経会便り

横浜青年経営者会

平成 28 年 4 月 22 日に横浜青年経営者会設立２０周年を記念して横浜ロイヤルパークホテルにて「２０周年記念式典・記念講演会・祝賀会」を開催致しました。

ご来賓として横浜市をはじめ、関係団体、地域工業会、他都市の青年経営者会のご臨席のもと、横浜青年経営者会のＯＢ会員及び会員、総勢１０５名が出席しました。

主催者を代表して笠原事業会長、近藤会長の挨拶に始まり、来賓の横浜市の林市長様（代理：渡辺副市長様）、（一社）横浜市工業会連合会の榎本会長様よりご祝辞を頂戴いたしました。

記念講演会では「横浜の未来の鍵を握る年」をテーマに横浜市渡辺副市長様を講師に招き、ご講義をして頂きました。

祝賀会では横浜市林経済局長様よりご祝辞を頂戴し、歴代会長による鏡開きを行い、（公財）横浜企業経営支援財団牧野理事長様の乾杯のご発声にて華々しく進行しました。

ホテル自慢の料理と横浜最高峰からの景色、アトラクションで大いに盛り上がり中村ＯＢ会長の中締めで祝賀会は終了しました。

ご出席の皆様によるお力添えにより本会も盛会に終わり、10 月 28 日に開催されます「大都市青年経営者交流研究大会横浜大会」に向け絶好のスタートを切ることが出来ました。

横浜市副市長　渡辺巧教様

（一社）横浜市工業連合会会長　榎本英雄様

帆船日本丸

新入社員合同研修会

今年も帆船日本丸において４月７日から８日の１泊２日の日程で１５社５７名の新入社員の方々が参加して開催されました。この新入社員研修は第３０回目を迎える市工連主催の伝統ある研修で、「帆船日本丸」でなければできない貴重な体験を通してチームワークの重要性・協調性・チャレンジ精神などを養い、企業人としての自覚と責任を引き出し組織の新戦力を育てる目的で行っております。

日鉄工営株式会社　上原　寿

今回私は、この新入社員合同研修を終えていくつか思う所があります。

まず一つ目が、コミュニケーションについてです。自分は、今年鹿児島から上京して来ましたが、保育園、小学校、中学校と同じメンバーで学んできたので、この大人数を見ると人見知りをしがちです。今回の合同研修も、うまくいくか不安でした。さらに同年代のみかと思いきや 24 ～ 25 才代の人もいて、今回の研修で何も喋ることができないと思っていました。しかし、周りの人々の声かけ等で少しずつ話をする事ができた。最終的に自分の中で、周りの人と打ち解けることができたのではと思いました。その理由として、最重要課題「社会人の基本マインド」や「社会人とは？」をいう課題を恥ずかしながらも、自分の意見を含め話し合うことが出来たから結果的に、少しは人見知りを克服する事が出来たのではと思いました。

また、社会人とは何か？と聞かれた時に自分たちの班は信頼という言葉につながりました。その中に自分なりの目標や夢がある人（持っている人）は、向上心を持って行動しているという結果になりました。自分自身まだ、この横浜に来て分からないことが、多くありますが、何か自分にとって大きな目標を持ってこれからの新社会人として生きていきたいと思いました。また、それと同時に今回の研修を終えて、いままでとは違い、自分一人ではなく周りの人が多くチームワーク（チーム）で行動するといった点でやはり自分一人の意見ではなく周囲の人達も見ながら行動していくことも学びました。

最後に、これからの新社会人生活は、自分一人では生きていけないということと、社会や会社のため、自分のために自覚と誇りと社会人モラルを守っていき新社会人としてこれから仕事に励みたいと思いました。
２日間ご指導いただき有難うございました。

日本自動精機株式会社　佐々木　杏菜

私はこの研修があると聞いてからたくさん悩む事がありました。全く知らない人とグループになるという事、仲良くできるかという事、高所恐怖症である私がマストに登りきることができるのか、様々な悩みを抱えていました。実際にグループで自己紹介をして話し合う場面では、周りの人が全員年上の人で緊張する事もありましたがすぐに打ち解けられました。

私は、この研修を通して３つの事を学びました。
１つ目は、理想の社会人になるためには様々な能力を身に付けておく事が必要という事です。

１日目の夜にみんなで話し合った時に私たちの班では、信頼される人、努力している人、責任感が強い人など、たくさんの意見が出ました。私はまだ新入社員で理想の社会人になるのは、まだまだですが出来る事から始めて理想の社会人になれるようにしたいと思いました。

２つ目は、チームワークが大切という事です。
これはカッターを体験して学びました。一つの物事を成し遂げる為には、みんなで一つになる事が求められてくると思うしそのチームワークが良い結果を導いてくれると思っているからです。

３つ目は、最後まで諦めないという事です。
やはり高所恐怖症の私からすればこの研修で一番の悩みでした。登るのがとても怖くて嫌でしたが学生を卒業し社会人となった自分への最初の試練をクリアしなければいけないと強く思いました。今、思い出すとかなり叫んで弱音ばかり言ってしまったなと反省しています。ですが今の私が好きな物に挑戦するという事は昔と大きく違う所です。まだまだ成長する部分はたくさんありますが今回の研修を通して学生の頃と大きく変われた気がします。

これから先ずっと働くにあたって常に初心を忘れずに物事を取り組みたいと思います。

「新入社員合同研修会」カリキュラム

1日目	時　間	場　所	内　容
4月7日（木）	8：40~ 9：00	訓練センター	受付
	9：00~ 9：15		オリエンテーション（日課説明、諸注意）
	9：15~ 9：45		作業服に着替え（男性：第２教室、女性：小会議室）
	9：45~10：00		開講式　挨拶　横浜市工業会連合会　会長 帆船日本丸記念財団　船長 職員紹介
	10：00~12：00		オリエンテーション、自己紹介 グループ討議（学生と社会人の違い、社会人とは） 相互確認（社会人にふさわしい第一印象を身につける）
	12：00~13：00		昼食
	13：00~14：00		船内見学（ビデオ鑑賞１５分　船内見学４５分）
	14：00~15：30	日本丸	結索訓練①（基本結び 30 分、ナポレオンマット 50 分）
	15：30~16：30	訓練センター	練習（あいさつ、お客様応対） 個人ワーク「理想の社会人となるために必要なことは？」
	16：30~17：00	訓練センター	休憩
	17：00~17：30	日本丸	居室準備（ボンク（ベッド）メイク、居室の確認） 防火避難訓練（避難経路の確認）
	17：30~18：00		
	18：00~19：00	訓練センター	夕食
	19：00~21：00		グループ討議「理想の社会人となるために必要なことは？」 グループ発表＆審査
	21：00~22：20		入浴等
	22：20~22：25		移動（日本丸スタッフ誘導）
	22：25~22：30	日本丸	巡検（船内にて人員の確認）
	22：30	日本丸	消灯、就寝

2日目	時　間	場　所	内　容
4月8日（金）	6：30~ 6：40	日本丸	起床・体操
	6：40~ 7：20		甲板磨き（甲板に集合、椰子の実を使った甲板清掃）
	7：20~ 8：00		朝食
	8：00~ 8：45		居室整理（各部屋、公共スペースの掃除）
	8：45~ 9：30	訓練センター	講義　「海に学ぶ（シーマンシップ）」 講師　日本丸船長
	9：30~ 9：40		休憩
	9：40~12：00		講義（社会人の基本マインド、社内コミュニケーション） 練習（言葉遣いと電話の受け方） ロールプレイング（報連相）
	12：00~12：45		昼食
	12：45~15：30	訓練センター	登檣訓練（メインマスト、トップ台登檣）
		周辺水域	カッター訓練
	15：30~16：00	訓練センター	私服に着替え、荷物整理（男性：第２教室、女性：小会議室）
	16：00~16：30		「研修を受講して」の感想文作成
	16：30~17：00		口頭発表会
	17：00~17：10		閉講式（認定書授与・閉講挨拶①日本丸船長②講師③市工連）

4/7
4/8

IM Japan アイム・ジャパン

公益財団法人 国際人材育成機構

インドネシア・タイ・ベトナム政府選抜実習生受入団体

累計 45,000名超受入れ

アイム・ジャパン実習生は安全衛生を心がけ、日々技術・技能の向上を意識し、技能実習に取り組んでいます。

アイム・ジャパン技能実習プログラムの特徴

1993年の第一期生受入開始以来、累計45,000名以上のインドネシア・タイ・ベトナム政府選抜外国人技能実習生を受け入れており、これまでの実績と経験を活かし、企業様・技能実習生をサポートいたします。

技能習得意欲の高い外国人技能実習生の受入れを通じて、職場の活性化や生産性の向上に繋げる等、インドネシア・タイ・ベトナム進出を計画中の企業様によって、海外生産拠点の現地リーダーを育成する等、技能実習制度を活用する企業が増えています。

外国人技能実習制度の見直しについて

現在政府により検討が進められている外国人技能実習制度の見直しは、**「外国人技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律案」**が閣議決定され、平成27年3月6日に第189回通常国会に提出、第190回通常国会で審議されており、この法案では、監理団体、受入企業及び技能実習計画についての許可等の制度を設け、これらに関する事務を行う新法人が設立されるなど、制度の厳格化が図られるとともに、監査等を行う高い能力を有する優良な監理団体のみが、4年目及び5年目の技能実習生を受け入れることができる等の拡充策が講じられることとなっております。

http://www.imm.or.jp/

問い合わせ・資料請求

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-4-3新堀留ビル
アイム・ジャパン業務推進部　TEL：03-5645-5628

全国12支局、海外3駐在員事務所の入管法・労働関係法令を熟知したスタッフが受入企業様・技能実習生をサポートいたします

Asahi SOFT DRINKS × WATAMI.

アサヒ飲料販売㈱の経費削減お役立ち企画

自販機と新電力のセット契約で
電気代 最大5%削減

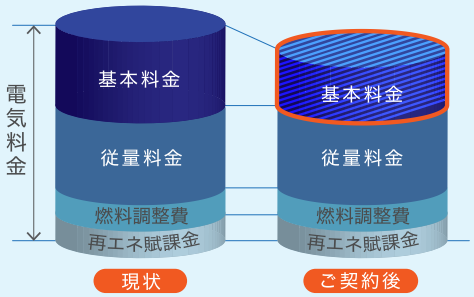
さらに 自販機1ヶ月分電気代相当分割引

自販機セット電気代割引

2000年度より、電力小売規制が順次撤廃され、2016年4月より低圧電力でご契約の事業所や一般家庭でも電力会社を自由に選択できる完全自由化がスタートしました。アサヒ飲料㈱では電力小売事業者のワタミファーム＆エナジー㈱と独自に連携し、電力需給契約と飲料自販機をセットでご契約いただいたお客様に対して通常の電気料金割引に加えて自販機の１ヶ月分の電気料金相当額の割引が毎月適用されるサービスをご用意しました。

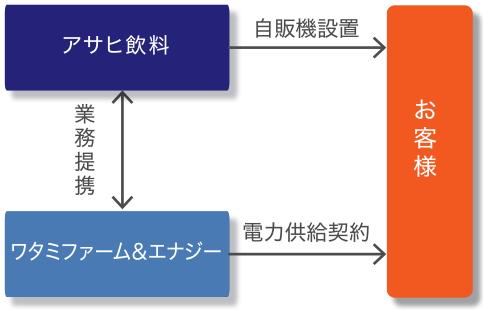
電気料金 ＋ 自販機セット電気代割引

最大5%削減(およそ) ＋ 1ヵ月電気代相当額 割引



※電力削減イメージです

スキーム図



※電力供給受付窓口は㈱サンコーライテックとなります

導入までのながれ

ご提案 → 電気料金明細ご提示 → お見積り → 契約締結・接続申込 → 電力契約解約届 → 自販機設置 → 電力供給開始

基本料金割引 ＋ 自販機1ヶ月分の電気量割引

※負荷率によってはご対応ができない場合もございます　※電力の切替えに約3ヵ月かかります

その感動を、わかちあう。
Asahi SOFT DRINKS
アサヒ飲料株式会社
東京都墨田区吾妻橋1-23-1
アサヒグループ本社ビル
☎ 03-5619-5673
takesi.hukumoto@asahiinryo.co.jp
【営業担当】
福本(ふくもと)